

「沖縄県地図情報システム」 現行システムの概要

1. 現行システムの概要

本システムの概要図は下記のとおり。（図2）

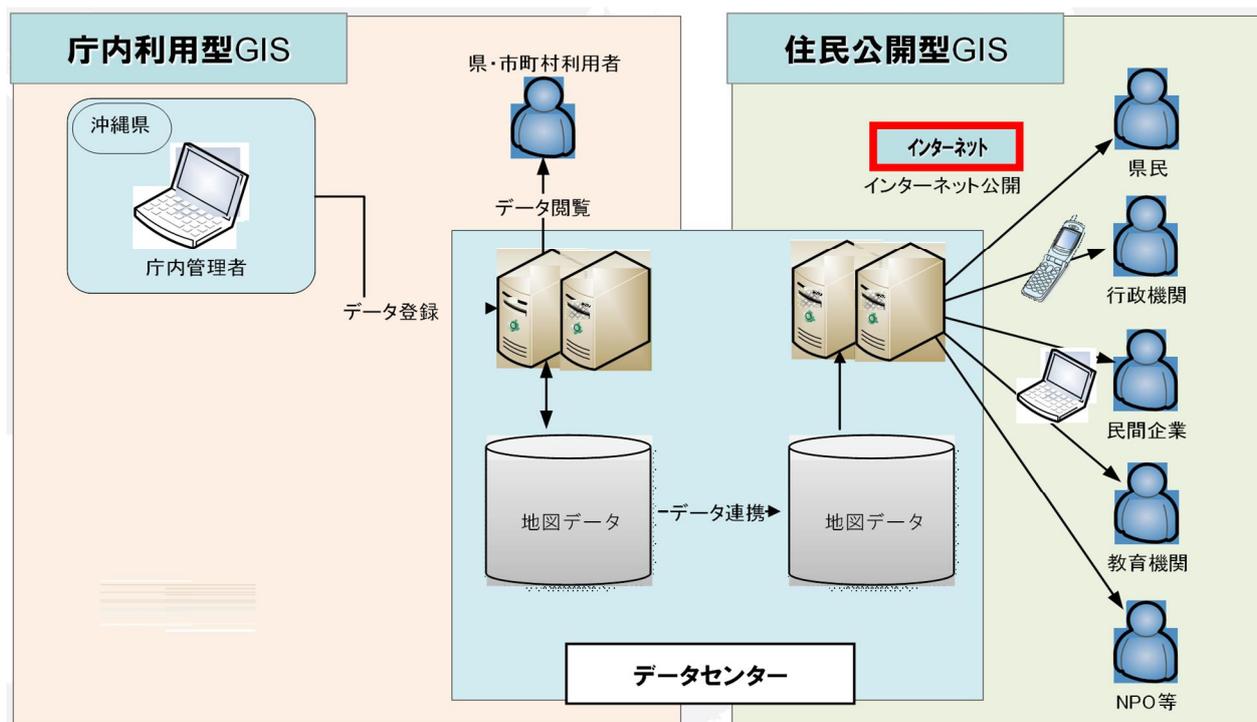


図2 「沖縄県地図情報システム」概要図

- ・統合型（庁内利用型）GISと公開外（住民公開型）GISに分かれており、権限設定等により、それぞれ求められている要件や機能が実現できる。
- ・県と受託業者間でASPサービスの利用契約を締結し、庁内のみ取扱いの秘匿情報等を、受託業者の確保したセキュリティ設備のあるデータセンター等の施設において、受託業者が確保したサーバ機器等で稼働させている。
- ・統合型GISはLGWAN回線を通じて利用できる。
- ・配信する地図の対象区域は、沖縄県全域である。

2. 運用期間

令和7年4月1日～令和9年3月31日

3. システム機能

- ・統合型GIS及び公開型GISについては、別紙2「機能要件・運用保守要件一覧表」

の「(1)統合型 GIS 利用者機能」及び「(2)公開型 GIS 利用者機能」に示す機能がおおむね実現できる。

4. システムのデータ連携

- データの二重管理を回避するため、統合型 GIS と公開型 GIS はデータ連携を実施し、データ登録の管理画面は1つとしている。

5. システムのトップページ

- トップページは、県のホームページとデザインや色調に統一感を持たせている。
- 本システムのトップページには、クリックすると該当箇所が拡大された地図が表示できる検索用の地図画像や、フリーワードを入力すると目的の地図が容易に検索できる検索用メニューを設けている。
- 画面構成等は、ウェブアクセシビリティに配慮したものとし、具体的な配慮事項については、本県の指示に基づいている。



参考画像 左：公開型 GIS トップページ

右：位置選択画面

6. システム管理体制

- 本システムの管理体制（権限）は以下のとおり。

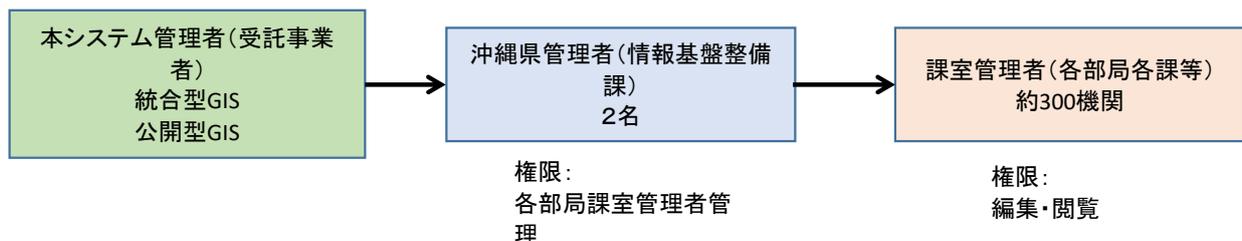


図3 権限概要

- ・沖縄県管理者は、各部局各課管理等のため、別紙2「機能要件・運用保守要件一覧表」中、「(4)団体管理者機能要件」及び「(5)課室管理者機能要件」で示す機能がおおむね利用できる。
- ・課室管理者は、別紙2「機能要件・運用保守要件一覧表」中、「(5)課室管理者機能要件」で示す機能がおおむね利用でき、本システムの管理ができる。

7. システムの状況等

- ・システムの状況等は下記表1のとおり。

表1：システムの状況等

	統合型GIS	公開型GIS
接続方式	LGWAN-ASP	インターネット
対応OS	Windows7以降、MacOSX以降に対応	
対応ブラウザ	Microsoft Edge、FireFox、GoogleChrome、Opera、safari等の主要ブラウザ	
ユーザ、ユーザ数	県職員 (約5,000人)	一般県民 (不特定多数)
権限	閲覧・編集・承認 (各課ログインID・パスワードで管理)	閲覧
アクセス	無制限 (住宅地図は20ライセンス)	無制限 (住宅地図は閲覧不可)
利用端末	PC	PC スマートフォン 携帯端末
背景図	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県数値地形図 (H21~H23、レベル2,500、5,000) ・数値地図(国土地理院) (レベル2,500、25,000) ・案内地図 ・空中写真(S52、H5) ・住宅地図(ゼンリン社製) 	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県数値地形図 (H21~H23、レベル2,500、5,000) ・数値地図(国土地理院) (レベル2,500、25,000) ・案内地図 ・空中写真(S52、H5、H20~25)
R07.3月末現在 登録主題図数、レイヤ数 (登録可能レイヤ数)	697レイヤ (点データ:157、線データ:152、面データ: 384、不明:4) (登録可能レイヤは無制限)	376レイヤ

単位:件

	年度	マップ閲覧数
庁内GIS	令和4年度	23,654
	令和5年度	26,680
	令和6年度	30,458
庁外GIS	令和4年度	187,093
	令和5年度	203,519
	令和6年度	212,989